

パソコンで新聞づくり 5 回目の講座

受講した組合が始めての機関紙発行へ

(近畿地協)

2012年9月13日、14日 兵庫県の赤石市生涯学習センターでパソコンを使った組合新聞の作り方講座を開きました。



全自交近畿地方協議会主催のパソコンを使っ
ての組合新聞の作り方を学ぶ講座が9月13
日、14日両日、兵庫県の明石市生涯学習セ
ンターで開かれ、今回は13名が参加しまし
た。記事の書き方から見出しの付け方、写真
の撮り方、パソコンを使った新聞作りなどを
学びました。この講座は近畿地協教宣実務者
学習会の一環として毎年開催され、今回で5
回目の開催になります。

学習会の冒頭に北坂隆生近畿地協副議長が「残
念ながらタクシー事業法が国会混乱のため上
程されなかった。成立に向けて全力の闘いが
必要だ。タクシーの運送収入額低下の中で企
業からの合理化攻撃が激しくなっています。
組合の団結のため教宣が大事です。そのため
にパソコンで新聞作りの基礎をマスターし、
組合新聞の発行や内容の充実に役立てて欲し
い」とあいさつしました。講師は成田次雄兵



庫地連書記長がメインに、加藤直人大阪地連書記長、山本和也兵庫地連執行委員がサブを
務め、記事の書き方、写真の撮り方や画像処理の方法、パソコンでの機関紙の具体的な作



り方を学び、参加者全員が2日間でA4版の
新聞1面を完成させることができました。近
畿地協傘下組合では組合員の減少や高齢化に
伴って組合運動が低下しつつあります。また、
組合新聞がなかなか発行できない実態もあり
ます。近畿地協では組合運動を強化する目的
で、その要である教宣活動の充実を目指して
パソコン教室を自力で開催してきました。内
容は毎年充実してきました。受講した後、

組合新聞を初めて発行した組合もあり、従来の新聞作りが簡単になったと、その成果も出
ています。

【参加者からの感想】

1. 庄司洋一（大阪相互タクシー労働組合）

教宣実務者学習会・パソコン教室に参加も4回目になりますが、これまで我流を混ぜながら新聞づくりをしてきました。今回の学習会に参加して基本に忠実に作成することにより、これまでに出来なかった記事のバランス・写真のはめ込み・修正の仕方を学びました。これからの機関紙づくりに活かせるようにしたいと思います。

2. 岩田幸一（全相互労働組合）

昨年初めてパソコン教室に参加してから暇を見つけてキーボードに触れるようになり平面的なものはそれなりに？出来るようになりました。しかし段組みで立体的に構成する新聞作りはかなり手強いです。新聞作りに参加するようになり、読んでいただく皆さんと直接対話しているようなものになればよいと思うのです。充実した紙面を作るためにはどうすればよいのか、職場や身の廻りの出来事にさら関心を深め面白いものにしたいです。とにかく、慣れるには繰り返し使いこなすが大事であると感じます。

3. 佐藤健治（ナショナルタクシー労組）

人生初めてのパソコン操作による紙面作りに大変苦勞しました。2日間の学習で身に付ける事は難しく継続による慣れが大事である事を痛感しています。パソコンによる新聞作りは便利であるし、マスターする為にも一層の努力が必要です。